

千葉県 NEWS

CHIBA CANCER CENTER NEWS

がんセンターニュース



第31号
平成27年11月4日発行
発行:千葉県がんセンター

理念

心と体にやさしく、希望の持てるがん医療

私たちは一人でも多くの患者さんに
質の高いがん治療を提供します。

前立腺がん診断には前立腺特異抗原 (PSA) が重要です

千葉県がんセンター 医療局長 植田 健



気が付くと25年以上医師として泌尿器科の診療に従事してきました。泌尿器科を選択したのは、高齢化社会がくることを予想していたからです。平成元年に勤務を始めたとき、当時の前立腺がん患者さんは罹患数こそ少なかったの

ですが、進行期で診断されることが多かったためホルモン療法を施行していました。早期発見は困難でした。その後、関連病院に移動したとき、開腹による前立腺全摘除術（以下開腹術）が広まりつつありました。先輩医師が手術されるのを見て、当時は出血量が多く、とても大変な手術という印象でした。開腹術は、制癌効果は高いものの手術創が大きく、輸血を要することが多く、術後早期の社会復帰が困難な面がみられました。手術が多く施行されるようになったのは解剖学の進歩と前立腺特異抗原 (PSA) の開発により、前立腺針生検が広まったのが大きかったと思われます。その後、低侵襲治療として2006年腹腔鏡手術が保険適応となりました。手術創の縮小や輸血率の減少が得られましたが、縫合操作に限界がみられました。最近話題となっているロボット手術ですが、2012年4月より前立腺がん手術のみ保険適用されました。ロボット手術は医師がイスに座って遠隔操作で内視鏡手術を行うものでロボットが自動で手術を行な

う事ではありません。術者は3次元10倍以上の拡大視野で手ぶれなく特に縫合操作が開腹手術より自由に行えます。疼痛が少なく、輸血の危険性が減り、尿失禁の回復も開腹手術より早期です。放射線治療も最近の進歩は著しく、治療選択も増えました。外照射として強度変調放射線治療や粒子線照射、内照射として小線源療法があります。

前立腺がんの診断において前立腺特異抗原 (PSA) 検診が大きな役割を果たしています。1ccの血液検査でがん陽性率がわかります。2011年の統計では男性におけるがん罹患数第2位まで増えています。PSAを測定されてご紹介いただいておりますが、毎年500人（10年前の約2倍）の前立腺がん患者さん診断します。その中にはいまなお進行期で受診される患者さんが10%以上いらっしゃいます。これまで泌尿器科医師としてさまざまな治療に関わってきました。このような最新の治療を提供できることは、喜ばしい反面、進行期のため希望される治療をご提供できない辛さがあります。前立腺がんに対して根治を目指す手術法や放射線治療が開発されても他のがん同様早期発見が重要です。50歳以上の方は、PSA採血による検診を是非お勧めいたします。

臨床の現場から

早期乳がんに対する手術に代わる 治療法の開発

乳腺外科 部長 山本尚人

乳 癌は早期発見によって治る可能性が高い癌であり、20年以上前から2cm以下の小さい腫瘍に対しては乳房を残す乳房温存療法が積極的に行われてきました。しかし、乳房温存術は、癌を含めて周りの正常組織をある程度広く切除するため温存した乳房の変形が強く残る場合も少なくありません。

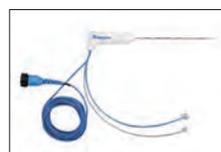
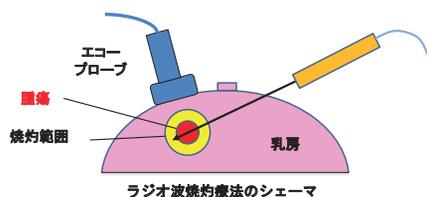
現在、当科で先進医療として行っているラジオ波による熱焼灼療法は、乳房を部分切除する代わりにその部分を癌も含めて熱で焼き殺してしまう治療法です。切除をしないため、乳房の変形が非常に少なく整容性に優れている治療です。ラジオ波による治療は、現在肝腫瘍に対して保険適応になっていますが、まだ他の腫瘍では保険適応になっていません。我々は保険適応を目指して多施設共同臨床試験を行っています。

この先進医療の主な条件は、1. 腫瘍径1.5cm以下の単発腫瘍、2. 術前診断で腋窩リンパ節転移がない早期癌です。手技は比較的容易で、全身麻酔下に超音波装置で乳房腫瘍を確認しながらラジオ波が先端から出る針を腫瘍の真ん中に刺した後、電流を流して針先端からラジオ波を発生させて腫瘍および周囲の組織を約4cmの範囲で概ね80℃以上の熱で焼いてしまいます。焼き終わ

るまでの時間は5～10分程度です。主な合併症は乳房皮膚の熱傷ですが、頻度は2%程度です。

現在、当施設も含め全国10数施設で臨床試験を行っています。施設によって先進医療費に若干の差はありますが、当センターの先進医療費は、15万3000円の実費負担になります。その他の入院費用や処置は全て保険診療内で行われます。通常の乳房部分切除を受けた場合と比べ、入院費用の差額は6万円程度です。

この治療が保険適応になれば、小さなしこりで見つかった乳癌の治療手段として外科的乳房部分切除の他に、患者さんにとって乳房の変形を少なくする意味では有望な治療選択肢が増えることになります。



17ゲージ・ラジオ波電極針

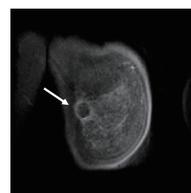


ラジオ波器械本体

整容性 (ラジオ波熱焼灼療法後2年)



腫瘍は右乳房上外側部にあった。



乳房MRI: 円形の焼灼部 (矢印)

平成27年度 千葉県がんセンター

臨床研究総合センターシンポジウムのお知らせ

恒例の、平成27年度臨床研究総合センターシンポジウムを、来る12月5日、午後1時から6時まで開催いたします。今回は、「臨床診断・バイオバンクをめぐる最近の話題について(仮)」のテーマで、内外の講師にご講演を頂きます。現在のところ、センター外からは村上善則先生(東京大学医科研・所長)、三森功士先生(九州大学病院別府病院・病院長)および松下一之先生(千葉大学医学部附属病院遺伝子診療部・准教授)にご講演いただく予定です。また、内部は横井左奈部長と臨床から2名の先生に、現在までの研究成果についての発表をお願いしております。

がんの原因究明やそれに基づく診断薬、治療薬の開発につなぐため、患者さんからご提供いただいた貴重な試料を、臨床の情報とともに管理する体制の整備は必須です。また、それらの成果を実臨床に結び付け、いかにしてがん診療を発展させるかが大きな課題でもあります。本シンポジウムが実りあるものとなりますよう、多くのご参加と活発な議論をぜひともお願い申し上げます。

地域医療連携室だより

セカンドオピニオンセンターを開設しました！

千 葉県がんセンターは、これまでもセカンドオピニオンの提供体制を整えてまいりましたが、セカンドオピニオンのさらなる推進を目的とし、2015年8月10日（月）にセカンドオピニオンセンターを開設しました。

セカンドオピニオンとは、患者さんが納得して治療法を選択できるよう、病状や治療の方針などについて、主治医以外の医師に「第二の意見」を求めることです。

セカンドオピニオンセンターは、がん相談支援センター内に設置し、看護師、社会福祉士、がん経験者など他職種のスタッフを配置しております。

業務内容は、①セカンドオピニオンに係る患者さんやご家族からの相談、②他院受診中の患者さんが当院のセ

カンドオピニオンを希望される場合の予約、連絡調整、③当院受診中の患者さんが他院のセカンドオピニオンを希望される場合の紹介、連絡調整、④セカンドオピニオンに係る情報発信等となっております。

セカンドオピニオンセンターを設置したことにより、患者さんやご家族からの相談、セカンドオピニオンの紹介、調整、情報発信などの活動をこれまで以上に積極的に行ってまいります。また、患者さんが主体的に治療を選択し、安心して安全で質の高いがん医療が受けられるようサポートいたします。

千葉県がんセンター 「セカンドオピニオンセンター」のご案内



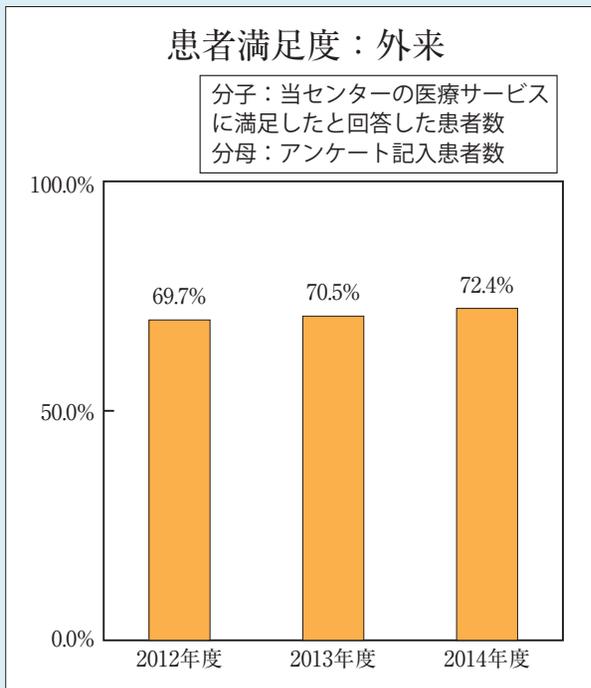
【相談窓口】

電話:043-264-5431(代表)
平日:午前9時～午後4時

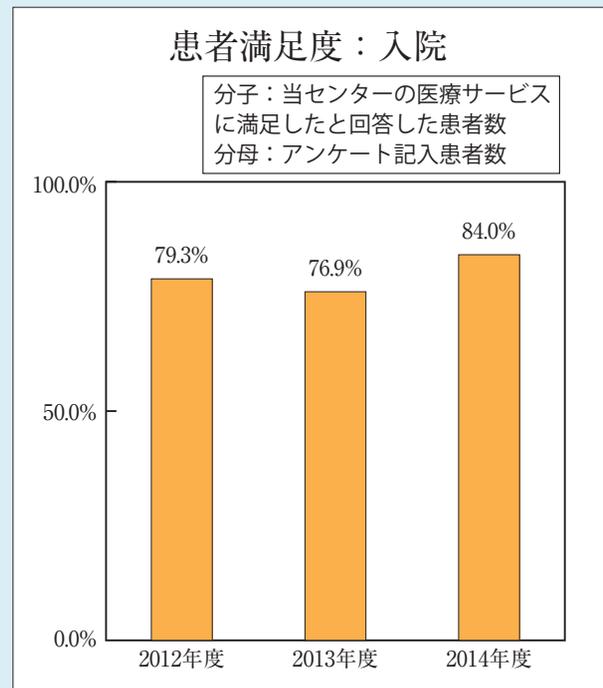
043-264-5630(直通)

診療実績

医療の質指標 (2012～2014年度) 診療情報管理室



千 葉県がんセンターは、医療の質を客観的に評価し、自らの医療レベルを向上させる目的で、指標を定めて医療の質評価を行い、ホームページ上で公表しています。患者満足度の向上は職員全員で取り組んでいる目標です。



初診担当医表

2015年11月1日現在

【予約受付時間】

 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始を除く)
9時～17時

診療科	月	火	水	木	金
消化器外科	池田 篤 外岡 亨 有光 秀仁	山本 宏 鍋谷 圭宏 早田 浩明 外岡 亨	滝口 伸浩 池田 篤 貝沼 修 小林 亮介 (奇数週) 知花 朝史 (偶数週)	永田 松夫 鍋谷 圭宏 滝口 伸浩	山本 宏 貝沼 修 早田 浩明 今西 俊介
消化器内科	傳田 忠道 廣中 秀一 鈴木 拓人 喜多絵美里	傳田 忠道 原 太郎 須藤研太郎	山口 武人 傳田 忠道 廣中 秀一 中村 和貴	傳田 忠道 原 太郎 廣中 秀一	中村 和貴 須藤研太郎 三梨 桂子 北川 義康
呼吸器外科	飯笹 俊彦		飯笹 俊彦		飯笹 俊彦
呼吸器内科	芦沼 宏典	板倉 明司 新行内雅斗 芦沼 宏典	吉田 泰司	板倉 明司 新行内雅斗 吉田 泰司	芦沼 宏典
乳腺外科	山本 尚人 佐々木巨亮	椎名 伸充 (担当医)	中村 力也 佐々木巨亮	椎名 伸充 (担当医)	中村 力也 佐々木巨亮
形成外科				徳元 秀樹 秋田 新介	徳元 秀樹
婦人科	(担当医)	田中 尚武 鈴鹿 清美 (腹腔鏡手術) 井尻美輪	(担当医)	田中 尚武 鈴鹿 清美	(担当医)
泌尿器科	小丸 淳 佐藤 陽介	植田 健 佐藤 陽介	竹下 暢重 篠崎 哲男	小林 将行 梨井 隼菱	深沢 賢 篠崎 哲男
腫瘍血液内科	熊谷 匡也 伊勢美樹子	辻村 秀樹 菅原 武明 伊勢美樹子	熊谷 匡也 菅原 武明	熊谷 匡也 伊勢美樹子	熊谷 匡也 辻村 秀樹
脳神経外科	井内 俊彦	(担当医)	井内 俊彦 堺田 司	(担当医)	堺田 司
頭頸科	佐々木慶太 佐々原 剛 櫻井 利興	佐々木慶太 佐々原 剛 櫻井 利興		佐々木慶太 佐々原 剛 櫻井 利興	
整形外科	石井 猛司 米本 司	石井 猛 岩田慎太郎		石井 猛	米本 司 岩田慎太郎 嶋田 博人
緩和医療科	秋月 晶子	秋月 晶子		秋月 晶子	秋月 晶子
精神腫瘍科	秋月 伸哉	秋月 伸哉		秋月 伸哉	秋月 伸哉
核医学診療部		戸川 貴史	久山 順平	久山 順平	戸川 貴史

【診療予約のご案内】

予約電話 043-264-5431 (代表番号) 地域医療連携室 予約担当

*当センターは予約制となっております。受診される場合は、電話で予約をおとり下さい。

*初めて受診なさる場合は、かかりつけ医など医療機関からの紹介状をお持ち下さい。

研究の現場から

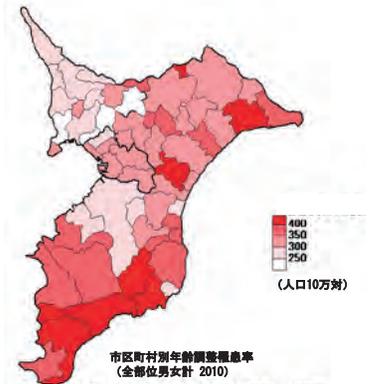
全国がん登録に向けて

研究所 がん予防センター 三上春夫

わたくしども疫学研究部（現 がん予防センター）は千葉県がんセンター開設時（1972年）千葉県がん登録中央登録室として先代部長村田紀（もとい）先生が福間誠吾元センター長のもとで、千葉県がん登録を創始され、2000年には私、現部長三上がこれを引き継いで、現在に至る長い歴史があります。はじめは地方自治体の保健事業に過ぎなかったがん登録ですが、来年からはがん登録推進法という法律に基づく統計事業に生まれかわって、全国がん登録が始まろうとしています。そこで、このがん登録はなんの役に立つのでしょうか？がん患者さんの数を知るだけなら保険請求の、レセプトの病名を集計すればよろしいように思います。がん登録はどこで、どのようながんが増えたり減ったりしているのかといった基本的な情報のみならず、一人のがん患者さんがその経過中にいくつのがんを併発するのかといったがんの長期経過、どの治療法を選択するとどのくらい生きられるのかといった医療の評価、たとえば肺がんの病理組織型別とか乳がんで、ある遺伝子の変異を持っている患者さんの比率はどれくらいあるのかといった治療法に結びつく、あるいは経過の善し悪しに関わる病院単独では知り得ないがん登録な

らではの統計を提供するのです。それだけではなく、がん患者さんの中には治療を契機として職を失ったり、転職を余儀なくされたりと、望まない社会的な転機に陥ったり、また抗がん剤による脱毛などの副作用から回復できなかつたりする患者さんがたくさん生み出されています。がん登録がこのようながん治療の質を明らかにできるような統計になったとき、社会との関わりの中でさらに利用価値の高い統計の仕組みとなっていくことでしょう。

千葉県のがん登録に長きにわたり携わってきました三上春夫部長が復帰し、これから益々疫学研究においても力を発揮して行きます。（千葉県がん登録室より）



第5回

心と体総合支援センターシンポジウム 開催のお知らせ

今回で5回目となるシンポジウムですが、今年は『どうしたら伝わる？～患者と医療者のコミュニケーション～』をテーマに掲げています。基調講演には、国立がん研究センター東病院の吉田純司先生をお招きして、医師の発言内容の意図や医療者と話す時に知っておいた方が良いことなどをお話し頂きます。

昨年度同様に、パネルディスカッションは来場者にアナライザーシステム（アンケートを自動集計するもの）を使って参加していただく企画をしています。当センターの医師、看護師、そしてがん経験者とがん相談の担当者がパネリストとなって、患者・医療者それぞれの立場から、言いたい事を相手にどのように伝えればいいのかを考えていきます。お申込み・お問い合わせは、千葉県がんセンターがん相談支援センターまで。

開催日時 平成28年2月6日（土）13～16時
場 所 京葉銀行文化プラザ6階「櫛」

リレー・フォー・ライフジャパン2015ちばが8月7日(土)、8日(日)の2日にわたり八千代市民体育館にて開催され、今年で6回目を迎えました。館内2階では、がんに関する情報を分かりやすく学べたり、マッサージやバザーなどのチャリティー企画が行われ、参加者達の交流の場にもなりました。また、ステージでは歌や踊り、演奏が行われ、歩いている人たちを勇気づけました。がんセンターは今年もチームで参加をし、夜通し交代でリレーウォークをしました。日付が変わる頃、フラッグを次の人に渡すとき、「遅くまでお疲れ様です。」「頑張ってください。」と笑顔で声をかけあう様子や、急に来られなくなった人の代わりに、1度帰宅してから再び来られる人もいらっしゃいました。総勢54名がリレーに参加をし、1007周を記録しました。最後になりますが、今回参加された皆様、本当にお疲れ様でした。また、ご支援ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



がん予防展2015

がん予防展が平成26年9月5日(土)、6日(日)10時から17時まで、イオンモール木更津1階で開催されました。ノースアトリウムでは、「がん相談」「血圧・血管年齢測定」「喫煙度チェック」「口腔がん」「がん細胞の顕微鏡画像の体験」胃がん模型を用いた「内視鏡体験」「乳がん模型の触診体験」など、体験しながら学べるものを中心に計15のブースが出されました。また、6日には乳がん無料検診が行われました。センターアトリウムでは、「食生活相談」「しっかり運動・早寝早起き朝ごはん」「ケアフード」「がんと向き合う食事」などが展示され、がん患者さんの食事に役立つレシピ集の配布も行われました。また、6日にはケアフードの試食会も行われました。2日間という短い期間の開催でしたが、がん予防や早期発見の重要性について認識を深めていただく貴重な機会となりました。



JR千葉駅から 所要時間:約25分

千葉中央バス: 菅田駅、鎌取駅、千葉リハビリセンター、大宮団地(星久喜経由)行乗車・千葉県がんセンター前下車

JR鎌取駅から 所要時間:約13分

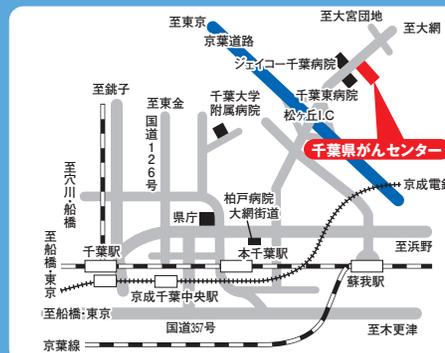
千葉中央バス: 千葉駅・蘇我駅行乗車・千葉県がんセンター前下車

JR蘇我駅から 所要時間:約16分

千葉中央バス: 鎌取駅行乗車・千葉県がんセンター前下車

松ヶ丘I.Cから

大網街道を大網へ向かって約2km右側



千葉県がんセンター

〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町666-2
TEL.043-264-5431 FAX.043-262-8680
<http://www.pref.chiba.lg.jp/gan/>